

■コメント

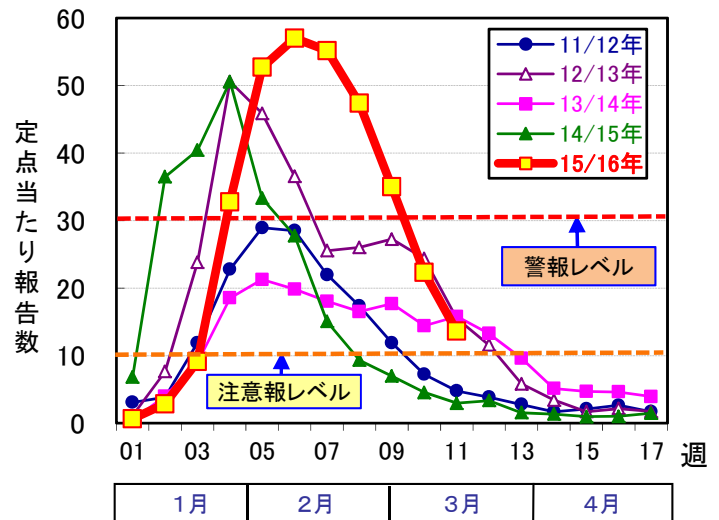
1. インフルエンザ

定点当たり13.6人と減少しましたが、まだ注意報レベル(定点当たり10人)を超えており、多い状況となっています。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第11週は3件の報告があり、今シーズンの累計は412件となりました。

なお、第11週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が52人、B型陽性が107人報告されています。

春休み中は、混雑する場所へ出かけるなど、感染機会が増えると考えられます。健康管理に注意し、手洗い・うがいの励行など、一層の感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	491	13.64	13.65	▲	小児科	流行性耳下腺炎	10	0.43	0.46	▲
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.21	▲	眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.18	▲
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	2.26	1.94	▲		急性出血性結膜炎	-	-	-	▲
	感染性胃腸炎	205	8.91	10.02	▲		流行性角結膜炎	3	0.38	0.65	▲
	水痘	6	0.26	1.01	▲	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	▲
	手足口病	2	0.09	0.18	▲		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	▲
	伝染性紅斑	25	1.09	0.16	▲		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	▲
	突発性発しん	5	0.22	0.44	▲		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	▲
	百日咳	-	-	0.05	▲		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	21	3.00	▲	▲
	ヘルパンギーナ	5	0.22	0.01	▲						

急増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	▲	▲	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	39	女性(60歳代)・2人、男性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	デング熱	1	2	男性(10歳未満)・推定感染地域: 国外
5	急性脳炎	1	4	男性(10歳未満)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	広島市	第7週	2,041	10	51	191	10	-	31	14	-	-	13	4	-	3	-	-	2	-	7
		第8週	1,755	3	84	201	6	-	33	5	1	5	17	3	-	3	-	-	1	-	15
		第9週	1,296	4	73	244	10	1	40	10	-	4	9	3	-	5	-	-	3	-	22
		第10週	826	3	63	231	8	-	32	7	-	2	21	3	-	4	-	-	2	-	14
		第11週	491	2	52	205	6	2	25	5	-	5	10	4	-	3	-	1	-	-	21
定点当 たり	広島市	第7週	55.16	0.42	2.13	7.96	0.42	-	1.29	0.58	-	-	0.54	0.17	-	0.38	-	-	0.29	-	1.00
		第8週	47.43	0.13	3.50	8.38	0.25	-	1.38	0.21	0.04	0.21	0.71	0.13	-	0.38	-	-	0.14	-	2.14
		第9週	35.03	0.17	3.04	10.17	0.42	0.04	1.67	0.42	-	0.17	0.38	0.13	-	0.63	-	-	0.43	-	3.14
		第10週	22.32	0.13	2.63	9.63	0.33	-	1.33	0.29	-	0.08	0.88	0.13	-	0.50	-	-	0.29	-	2.00
		第11週	13.64	0.09	2.26	8.91	0.26	0.09	1.09	0.22	-	0.22	0.43	0.17	-	0.38	-	0.14	-	-	3.00
	全国	第9週	35.35	0.30	2.99	6.49	0.35	0.03	0.49	0.35	0.01	0.01	0.79	0.31	0.01	0.55	0.02	0.04	0.44	0.03	0.57
		第10週	28.20	0.28	2.82	6.27	0.32	0.02	0.42	0.36	0.01	0.01	0.86	0.28	0.02	0.57	0.01	0.04	0.50	0.02	0.57

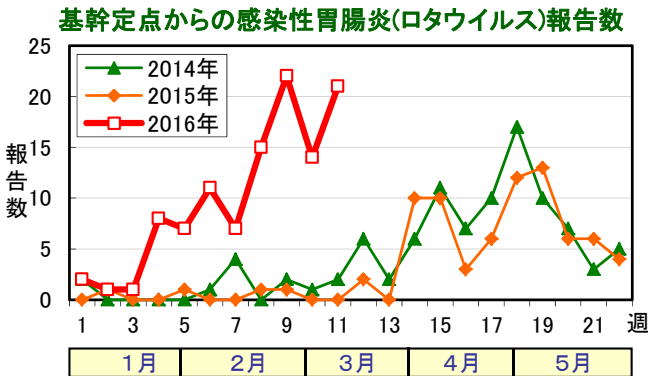
■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.6) 嘔吐 下痢 熱性痙攣	1	男	2016/02/07	糞便	サボウイルス
感染性胃腸炎	発熱(40.0) 下痢	5	男	2016/02/10	糞便	アストロウイルス
RSウイルス感染症	発熱(37.5) 気管支炎	0	男	2016/02/11	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 肺炎	0	男	2016/02/07	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	血便	0	女	2016/02/01	糞便	パレコウイルス1型
その他の消化器疾患	発熱(39.0) 嘔吐 下痢 髄膜炎 熱性痙攣	1	男	2016/02/06	糞便	A群ロタウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



感染性胃腸炎の原因ウイルスとしては、例年、全国的に12月から2月頃はノロウイルス、3月から5月頃はロタウイルスが多くなる傾向があります。ロタウイルスは乳幼児におけるウイルス性胃腸炎の主要な原因であり、ノロウイルスに比べると症状が少し重い傾向にあるといわれています。

市内の基幹定点7か所からの感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の報告数は、今年は例年より多くっており、注意が必要です。年齢別割合は、1~4歳が75.2%、5~9歳が14.7%、0歳が7.3%となっています。

感染予防には、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが重要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp